

# 令和6年度 授業改善推進プラン（技術科）

作成者 上井 兼一

## 令和5年度の授業改善推進プランの成果と課題

1年	2年	3年
<p><b>成果</b> 使用用途を考えて機械や道具を安全に使えた。</p> <p><b>課題</b> 先を見通した作業計画を立てさせ、自ら考えて作る力を身に付けさせたい。</p>	<p><b>成果</b> 技術の発達を調べ、学習や発表を通して学習できた。</p> <p><b>課題</b> 道具の使用用途を考えることで、作業効率が上がることに気付かせたい。</p>	<p><b>成果</b> 持続可能な社会の「生活に役立つ」をテーマに学習を進められた。</p> <p><b>課題</b> 授業計画を立てさせ、自ら考えて作業を進める力を身に付けさせたい。</p>

学年毎の課題分析	学 年	生徒の実態	学力調査、授業アンケート等を受けての具体的な授業改善策	
			第1回	第2回
	1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の理解力の差は大きい。意欲的に授業に参加している。</li> <li>作業進度の差は開く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業では、進度差が明確に出てくるため、授業者が机間指導を行い、遅れている生徒や困っている生徒への対応を行う。</li> <li>考えたいようなパフォーマンス課題を出題し、技術の楽しさを体験させていく。</li> </ul>	
	2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>まじめな生徒たちだが、個々の理解力の差は大きい。同じ作業を行うにも、差が開く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識に関しては、スライドで画像や動画等を使用しながら分かりやすく説明していく。</li> <li>休んでしまい作業が遅れている生徒への対応を丁寧に行い、進度の差を軽減していく。</li> </ul>	
	3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>まじめな生徒たちだが、個々の理解力の差は大きい。同じ作業を行うにも、差が開く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業を進めるにも進度の差が大きく開いてしまう。グループワーク等で教え合いながら互いに協力できる授業づくりを心掛ける。</li> <li>考えたいような課題を設定し、技術の素晴らしさや楽しさを体験させていく。</li> </ul>	

## 令和6年度の授業改善推進プランの成果と課題

1年	2年	3年